

# 第6回「分かりやすく、使いやすい 公共交通実現会議（丹後地域）」

平成19年5月18日（金） 13:20～15:20

於 京丹後市峰山総合福祉センター



# 「改善実行計画」の実施状況



# 1 丹後地域における公共交通の現状

## 鉄道

北近畿タンゴ鉄道（KTR）

（ピーク時(H5) 303万人 ↔ H17 202万人）

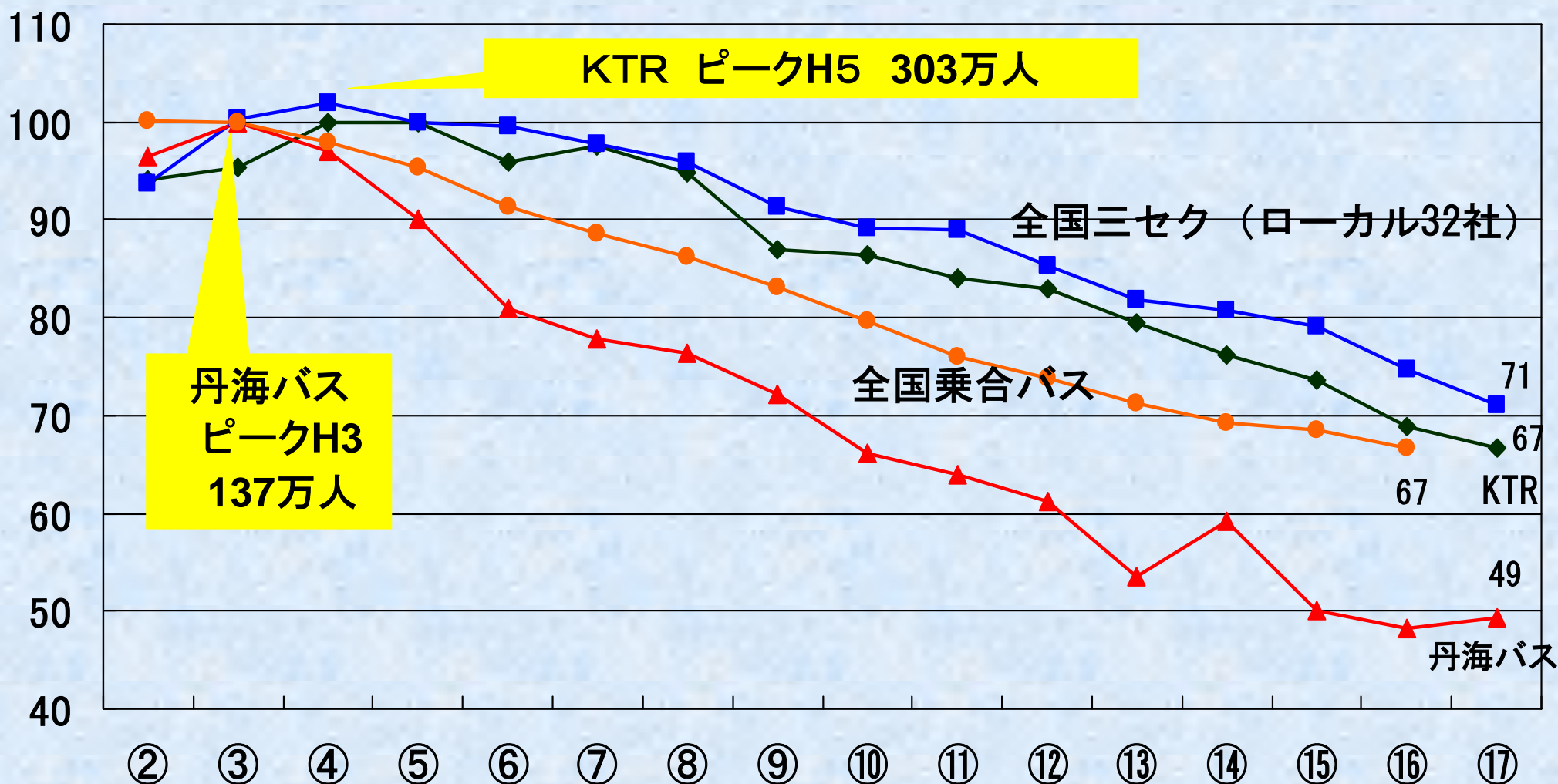
## バス

丹後海陸交通（丹海バス）

（ピーク時(H3) 137万人 ↔ H17 68万人）

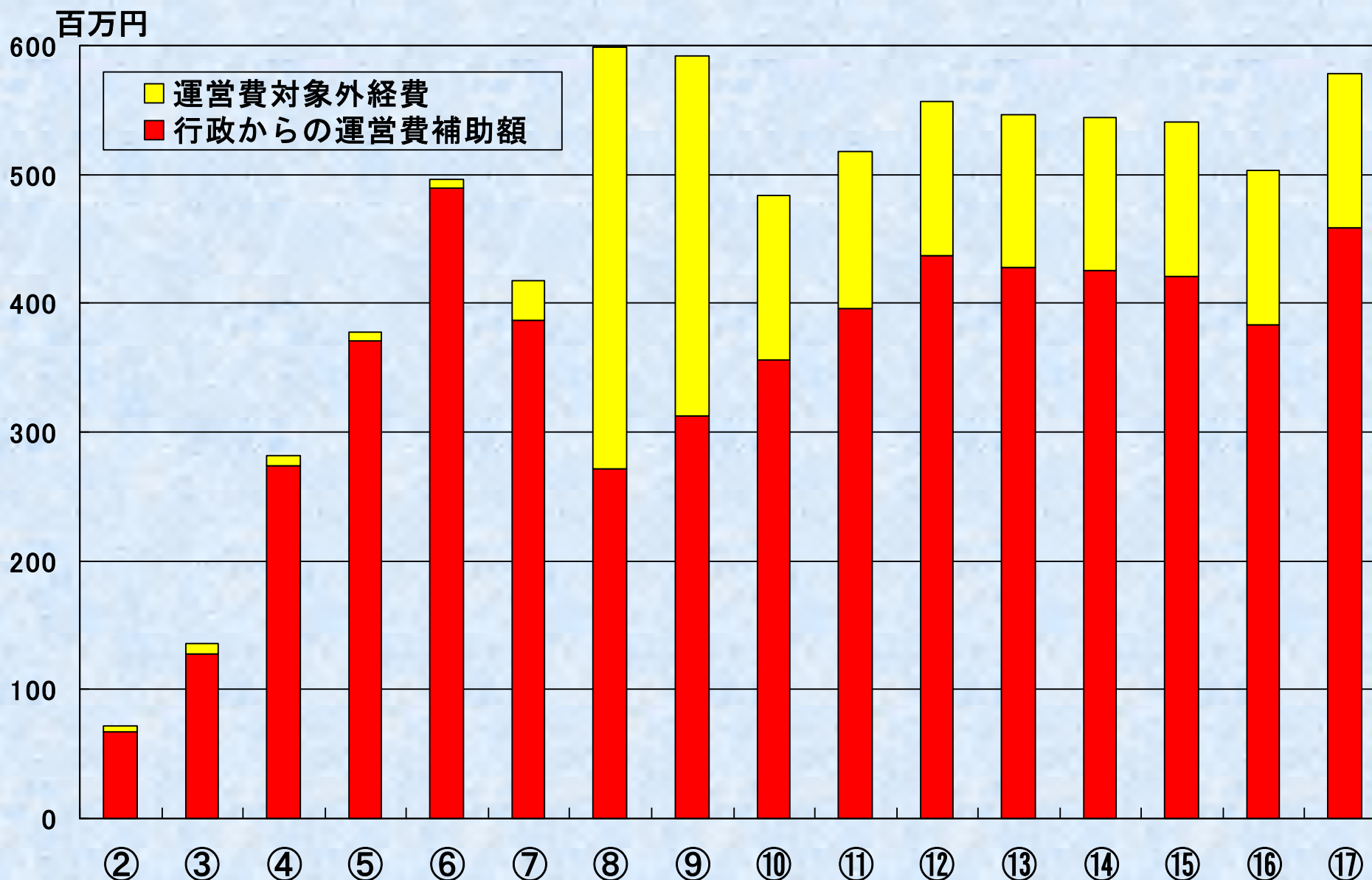
加悦フェローライン、一部市町

# 輸送人員の比較（ピーク時を100とした場合の比較）



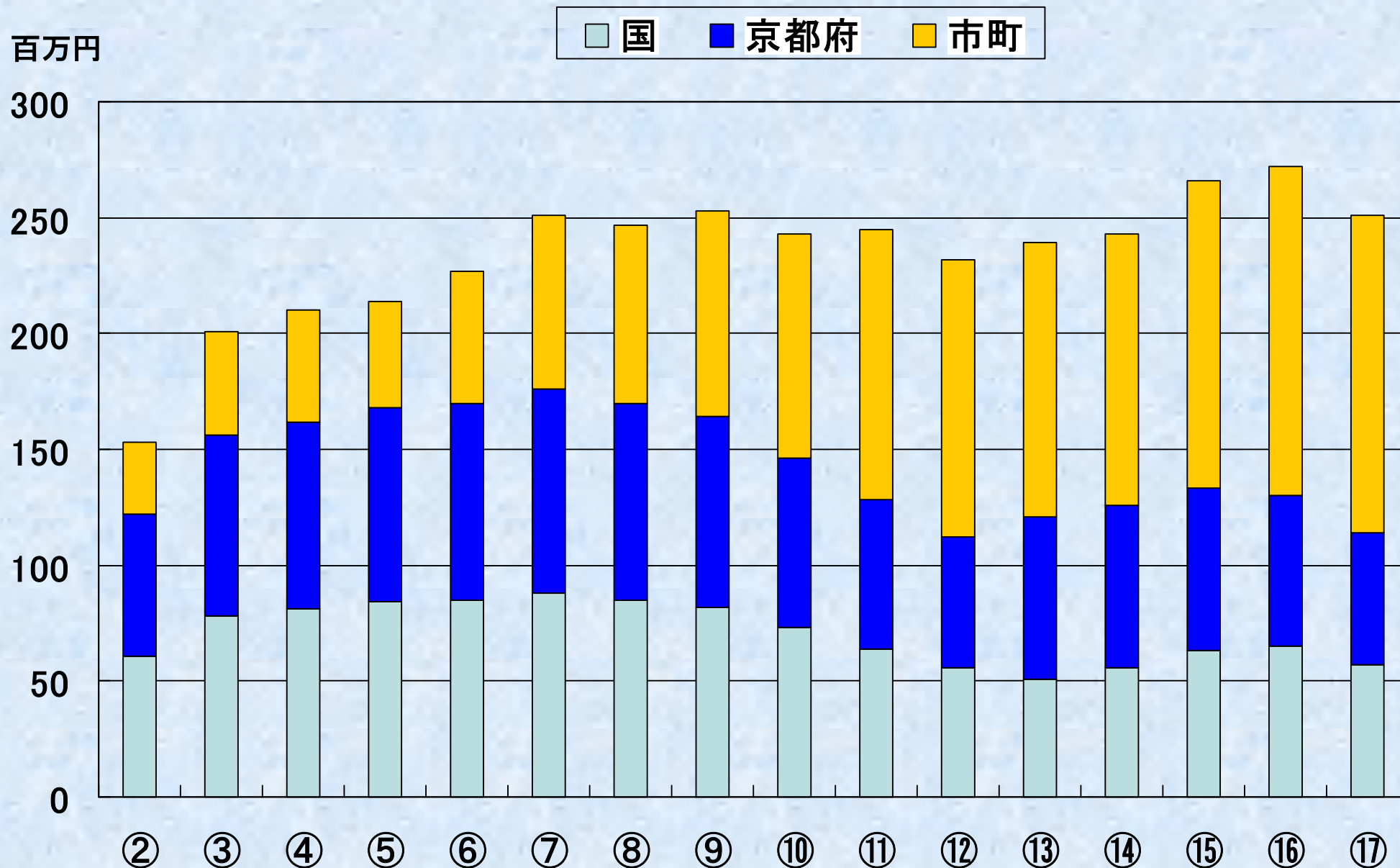
※KTRを除く全国第3セクター鉄道38社のうち、JR在来線のショートカットにより速達性を発揮できる等の特性を持つ4社(北越急行、智頭急行、愛知環状鉄道、伊勢鉄道)及び並行在来線2社(IGRいわて銀河鉄道、肥薩おれんじ鉄道)を除くローカル32社(⑰は試算)

# KTRの経常欠損額の推移(翌年度に行政支援)



運営費対象外経費：タンゴディスカバリ車両に係る減価償却費（導入時に全額行政支援）等

# 丹後海陸交通 乗合バス経常欠損に対する行政支援額の推移



## 2 旧京都交通会社更生問題を契機とした取組

「府中北部地域公共交通ネットワークの今後のあり方」  
(中間まとめ) 平成16年9月13日 [抜粋]

### ● 地域の公共交通ネットワークの今後のあり方

従来の発想を転換し、「住民（利用者）最適のネットワーク」を、地域が支える姿勢で、行政、住民、事業者が、例えば路線の計画や利用促進を含め協働するなど、地域の実情に応じたより良い地域交通の実現に取り組む。

※ 旧京都交通(株)

府中北部地域13市町のエリアで生活交通路線を運行

16.1.19大阪地裁から保全管理命令

乗合バス

市町営・地域  
運行バス

より需要に応じた、多様な  
交通手段を組み合わせ

乗合  
バス

貸切バスの  
乗合利用

市町村営  
バス

スクール  
バス

乗合  
タクシー

地域やNPO等  
による自主運  
行バス

住民(利用者)最適の、より便利で一層効果的・効率的な  
生活交通ネットワークを構築

交通の採算面だけでなく、人の移動や交流の活性化による地域社会全体の  
活性化をめざす(商店街の活性化、高齢者の生きがい向上等)



## ○ 公共交通システムの改善

[3市町（綾部、亀岡、旧園部）などが導入]

①	新たな路線設定・増便	○病院・駅経由増(需要少路線廃止) ○循環線新設、増便
②	パターンダイヤ又は鉄道 接続ダイヤ導入	○パターンダイヤ(毎時同分に発車)
③	きざみ・低額運賃導入	○100円刻み ○上限500円 低額(例 1,250円 → 500円)
④	中・小型バリアフリー車 両導入	
⑤	情報提供の徹底	○路線図付き時刻表パンフ、HP充実
⑥	「予約型乗合タクシー」 一部導入	

※ 路線・運賃等を事業者任せにせず、市町（地域）主導で設定

その結果

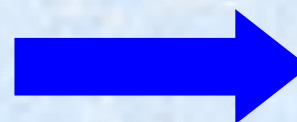
## 公共交通のシステム改善により利用者は増加

利用者の推移(17.4.1再編後)

(単位:人)

	17.4~18.3 累計	18.4~19.3 累計	増減	伸び率
綾部市	200,939	215,213	14,274	107%
亀岡市	93,432	103,140	9,708	110%
園部町(南丹市)	36,149	39,262	3,113	109%
計	330,520	357,615	27,095	108%

従来、右肩下がり



反転

これらの取組も参考にしながら . . . . .

### 3 丹後地域での公共交通ネットワーク構築

「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク  
実現会議（丹後地域）」立ち上げ（17.11～）

[当初は、府・市町・KTR・丹海で発足]

利用者の視点に 立ったネットワーク 全体の改善	①住民にとってよりよい「交通」
	②観光を一層振興する「交通」

## ◎ 改善に当たっての基本的な考え方

### ● 丹後地域における公共交通に対する基本的認識

- 公共交通網は、住民自身の手で守り育てるべきもの

→ その改善は、自分たち自身が行うべき

- 「分かりやすい」、「使いやすい」公共交通ネットワークの実現は、KTRやバスを、地元住民が安心して利用できる、乗りたい、残したいものにするが、同時に、それは、観光客にとっても利用したくなるものでなくてはならない

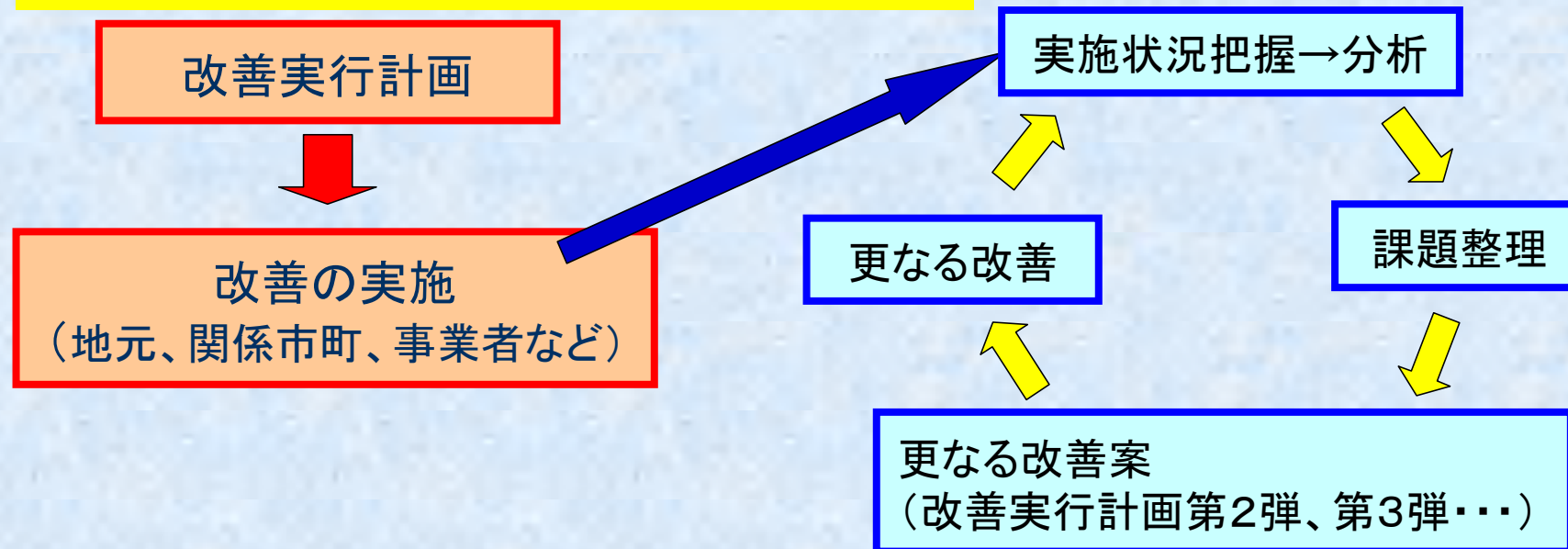
- また、「分かりやすい」、「使いやすい」公共交通ネットワークの実現は、地元を愛し、地元に誇りを持てるものにする取組でもある

## ● 「改善実行計画」(中間まとめ)の基本的な考え方

- ・ 失敗を恐れずに、まず、モデル的・実験的に、できるところから改善
- ・ 公共交通を事業者任せにせず、地元住民や行政も一緒になって自ら考え、行動し、皆で良くする

## ● 改善実行の進行管理

(マネジメントサイクルにより推進)



## ◎ 改善実行計画(中間まとめ)(18年9月) <抜粋>

### ア 速やかに改善に着手するもの【⑱内に着手】

#### ダイヤ

昼間の時間帯を中心にパターンダイヤ(毎時同分(同時  
間帯)発車)の導入

・KTR宮福線、丹海バス間人循環線など

#### 運賃

分かりやすい運賃(例:100円刻み)の設定

・丹海バス間人循環線等で低定額運賃(200円)実証運行(18.10か  
ら1年間)

#### 駅・停留所

魅力的な駅の創造

・四季の花植栽、美化活動

バス停留所の移設

・野田川駅前広場や弥栄病院敷地内へバスを乗り入れ

## 車 両

中・小型化推進、ノンステップバス導入促進  
(安心・安全な車両の導入)

## 情報提供

地図上路線図、乗換案内、起終点時刻等が一目で分かる表示(案内表示改善)  
・分かりやすい、使いやすい鉄道・バス時刻表の作成(京丹後市)

## その他

乗務員・嘱託職員等のサービス向上  
(親切、丁寧な対応のための研修強化等)

## イ 中期的に対応するもの【概ね3年以内に対応】

運賃

鉄道・バス相互乗継のできる共通割引乗車券の発売

駅・停留所

駅のスロープ勾配改善

車両

KTR車両の内装の定期的変更など(快適な車両)

## ウ 将来的な課題【期限は設けないが改善を目指す】

ダイヤ

午前の早い時間に丹後に着く特急の運行

運賃

KTRで同一域内での運賃の均一化

<経営に影響することから慎重に検討>

車両

サイクルトレインの導入、トロッコ列車の運行

情報提供

携帯電話を利用した情報提供やバスロケーションシステム導入



## ◎ 改善の実績（主な実施例）

### ア 200円バス（京丹後市・丹海バス）の実績

- ✿ パターンダイヤの一部導入

丹海バス(間人線下り、間人循環線左回り)

	峰山駅 前発	弥栄病院 前発	丹後庁舎 前発
9時	0 2	1 5	3 4
10時	5 5	0 8	2 7
11時	0 2	1 5	3 4
12時	5 9	1 2	3 1
13時	5 5	0 8	2 7
14時	5 5	0 8	2 7
15時	5 5	0 8	2 7

※  
列車接続等を除き  
可能な限りパターン化

# ❁ 低廉な運賃の設定 (市内一部区間を200円均一に)



昨年12月の峰山停留所での乗車状況（海岸線下り）

対前年比  
10月 約140%

利用者  
平成18年10月 10,079人  
(平成17年10月 7,236人)  
増加の主な理由  
★運賃の大幅な値下げ。  
★高齢者・高校生のみなさんへのアンケート調査の意向を運行ダイヤに反映させ、利便性を向上。

11月 約150%

利用者  
平成18年11月 10,017人  
(平成17年11月 6,731人)  
増加の主な理由  
★利用者の口コミによる宣伝効果。  
★市職員による毎月1回以上の公共交通率先利用を11月1日から開始。



昨年12月の峰山停留所での乗車状況（間人線下り）

## ❁ バス停位置の改善

施設の直近へ移設

岩滝口駅、野田川駅

弥栄病院、丹後あじわいの郷



岩滝口駅前ロータリーへの乗り入れ



弥栄病院前へのバス停移設



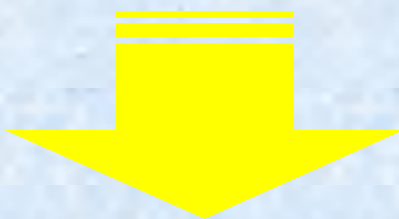
「海と星の公園下」  
バス停新設

# 情報提供の工夫

- 分かりやすいパンフレット
- ポケット時刻表
- ホームページ充実 など

公共交通マップ「ようこそ京丹後市へ」

京丹後市 バス・鉄道・航空時刻表



## 200円エリアでの輸送人員 対前年累計比較

17年10月～18年3月 / 18年10月～19年3月

140%

A large red arrow pointing upwards and to the right, indicating a significant increase or growth.

# イ 北近畿タンゴ鉄道における改善の取組

- ❁ H19.3ダイヤ改正による接続時間の大幅改善
- ❁ 「タンゴ悠遊号」の土休日通年運行
- ❁ 新規企画乗車券等の発売（KTR温泉乗車券、KTR青春フリー切符ほか）
- ❁ 各駅時刻表をHPにアップ など



タンゴ悠遊号



温泉乗車券

丹後かにカニ  
入場券



## ウ 地元住民や行政における取組

- ❁ K T R 峰山駅クリーン作戦（住民ボランティア活動）
- ❁ ノーマイカーデーの設定（京丹後市ほか）
- ❁ 木津温泉駅舎内に足湯を整備（木津温泉振興組合、京丹後市）
- ❁ 丹後大宮駅のオブジェ（大宮町観光協会）、沿線花いっぱい運動（丹後広域観光キャンペーン協議会ほか）



丹後大宮駅のオブジェ

木津温泉駅の足湯



## 《参考》 これまでの経過

平成17年11月30日 「分かりやすく、使いやすい公共交通ネットワーク実現会議（丹後地域）」設置、第1回会議開催

平成18年1月30日～31日 第1回ワーキンググループ会議、現地調査実施

3月3日～5日 利用実態調査（KTR、丹海 全便、全区間調査）

3月22日 第2回実現会議開催  
（改善の課題と改善の方向性を協議）

< ここまで 準備的作業 >



## < 本格議論 >

- 5月25日 第3回実現会議開催  
（「改善実行計画」骨子たたき台を基に意見交換）  
〔構成メンバーを拡大（地元利用者、経済界、観光・商業、関係団体、有識者等）〕
- 8月7日 第4回実現会議開催  
（「改善実行計画」素案を基に意見交換）
- 9月19日 第5回実現会議開催  
（「改善実行計画」実行に向け意見交換）

（ ワーキンググループ会議、サブメンバー等打合せは随時開催 ）